

梨栽培サポーターが今年も活躍中！



1月下旬から3月上旬にかけて、J A南彩無料職業紹介所「J A南彩あぐりサポート・梨栽培サポーター」を活用の場とした、仕事の求人者と求職者の職業紹介を行い、依頼のあった梨畑の剪定作業を行いました。

この取組みはJ A南彩で毎年開催している梨栽培講習「新規ナシ栽培塾」の塾生を中心に、「梨栽培サポーター」へ登録をいただき、農家から作業の依頼があったときに職業紹介をしています。

令和2年より活動を始め、剪定作業の他、網掛け、収穫など、一時的に不足する労働力を支援する取組みを行っており、梨栽培サポーターの登録者も徐々に増え、活躍の場を広げています。



今回依頼をした春日部市の田口宏さん（前列左から2番目）と梨栽培サポーターの皆さん



剪定の依頼をした春日部市の田口宏さんは「去年『広報誌なんさい』の記事を見て梨栽培サポーター制度を知りました。梨畑の面積が広く剪定作業に人手が必要なので手伝いをお願いしました。予定通り作業が終わり助かった」と話していました。

梨栽培サポーターの鈴木精一さんは「サポーターの輪を広げて、梨特産地を維持、発展していくための活動をしていきたい」と話していました。